

JAKOB SCHARF

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Director General of the Danish Security and Intelligence Service (DSIS) from 2007-2013



Jakob Scharfは、2007 - 13年にデンマークのセキュリティとインテリジェンスサービス「DSIS」の局長を務めました。

Scharfがデンマークの治安情報局の局長に任命されたとき、彼は40歳で、そのような立場で奉仕するための最年少の一人でした。彼がサービスに加わった直後に、彼らは漫画危機（デンマークの新聞に掲載された預言者ムハンマドの漫画）を経験しました、その後デンマークはアルカイダと同様にアルカイダと提携したテロ組織とテロリストネットワークの優先目標になりました。テロの脅威は突然非常に深刻になり、デンマークの国家安全保障に重大な脅威をもたらしました。

Topics

- Cyber Security
- Risk
- Technology

この脅威はDSISの能力、能力、戦略に大きな変化を要求し、2007年以来、海外でのデンマークとデンマークの利益に対する多数の特定の脅威の特定、防止、対処に成功しています。

国家安全保障に影響を与える脅威の動的で複雑な性質は、国家安全保障組織が動的であるだけでなく、先を見越して進歩的であることを必要とします。デンマークに対する深刻なテロの脅威により、デンマークの治安情報局は、過激化のための包括的な防止戦略、特定のテロ活動に対抗するための強力な対策、およびテロリストに対する効果的な調査と起訴の開発において主導的役割を果たしてきた。

新しい法的枠組みを実施し、官民パートナーシップを確立し、対外的なコミュニケーションの開放性と透明性を確保することは、デンマークの安全保障情報局の変革における重要な要素の一部であり、今日デンマークのサービスはその種の主要なサービス。

事務局長としての任期中、彼は演説を続け、メディアへのインタビューを継続的に行ってきました。そして辞任した後、彼は今より国際的な状況で彼の経験を共有する機会があります。

現在、彼は政府（デンマーク法務省）のコンサルタント業務を行っており、2014年に非上場のデンマーク公的有限責任会社として設立されたCERTA Intelligence「Security」インテリジェンス、分析およびセキュリティ会社のエグゼクティブディレクターです。コペンハーゲン